

2021年度 事業報告

【資料収集】

所蔵資料総点数 1,324,484点

	図書	雑誌	特別資料	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	3,932	33,441	2,615	0	5	1件
累計	501,016	713,306	104,498	5,425	239	68件(資料点数10,673点)

【閲覧等サービス】 []内は前年度の数

閲覧	資料複写サービス	資料写真サービス	レファレンスサービス
日数195日[177日] 人数1,171人[1,036人]	1,307件32,548枚(うち学割178件3,916枚) [1,229件25,850枚(うち学割160件5,903枚)]	347件1,596枚 [382件1,694枚]	781件[769件]

成田分館 開館日数9日[1日]、展示来観者0人[0人]、閲覧者0人[0人]

HP特別資料検索サービス 利用登録者718人[566人]

【展覧会】

① 春季特別展「中里介山『大菩薩峠』—明滅するユートピア—

2021年4月3日(土)～6月12日(土) (49日間、732人)

編集委員：紅野謙介

図録を兼ねた「中里介山文庫目録」を作成 (B5判240ページ、頒価2,200円、Webshopで販売中)

川端康成記念室＝「川端康成と『文藝時代』の人びと」

② 夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ—夏目漱石「こころ」とその時代—

2021年6月26日(土)～9月11日(土) → 9月25日(土)まで延長 (65日間(21日開室)、601人)

編集委員：安藤宏、中島国彦

③ 秋季特別展「芝居は魂だ！ 築地小劇場の軌跡1924～1945」

2021年9月18日(土)～11月27日(土) → 10月9日(土)～12月18日(土)に会期変更 (49日間、1,175人)

編集委員：武藤康史

図録を作成 (B5判32ページ、頒価660円、Webshopで販売中)

川端康成記念室＝「川端康成をめぐる書簡」

④ 冬季企画展「明治文学の彩り—口絵・挿絵の世界—

2021年12月4日(土)～2022年2月12日(土)

→ 2022年1月8日(土)～2月26日(土)に会期変更 (29日間、998人)

編集委員：出口智之、安藤宏

⑤ 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ 震災を書く」

2022年2月22日(土)～3月26日(土) → 2022年3月5日(土)～26日(土)に会期変更 (15日間、269人)

編集委員：山崎一穎

⑥ 文学事典のこれまでとこれから—デジタル版『日本近代文学大事典』リリース記念展

「震災を書く」と同時開催

編集委員：安藤宏、紅野謙介、中島国彦、宗像和重

【講座・講演会】

○文学館へ行こう！(文学館を知りたい方へ—利用案内講座) → 2021年度の開催を中止。

○資料は語る 2020年度<資料で読む「東京文学誌」Ⅲ> (開催回の受講者数 計37人)

下記の予定の通り開催したが、5月、6月、9月の回は2022年度に延期。

- 4月17日(土) 南明日香：永井荷風「日和下駄」の東京—重層する時空間
- 5月15日(土) 庄司達也：芥川龍之介「雛」の銀座「煉瓦通り」—「紺珠十篇の中」という懐かしいお話から小説へ
- 6月12日(土) 中島国彦：夏目漱石—作品に描かれた東京市外
- 9月18日(土) 井上隆史：三島由紀夫『鏡子の家』の東京、そしてニューヨーク
- 10月16日(土) 林 廣親：木下杢太郎『食後の唄』を読む—<パンの会>の青春東京地誌
- 11月20日(土) 金井景子：浅草文芸への誘い—川端康成『浅草紅団』とタウン誌「月刊浅草」を結ぶ点と線

○声のライブラリー 自作朗読と座談会 → 2021年度の開催を中止

- 2020年度に続きVimeoでの無観客収録配信。11月11日、12日、12月8日の3日間にわたり、4組8名の朗読・対談を収録。3月31日よりオンデマンド有料配信。
出演者：伊藤比呂美×井坂洋子／高橋睦郎×星野太／佐藤洋二郎×藤沢周／小池昌代×小川公代
- 同日「2020年度の声のライブラリー：世界版(対談英語字幕)」(Helen O' Horan氏訳)配信開始。

○「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法ミニレクチャーや意見交換会をおこなった。

7月3日(土) 講師：安藤宏・中島国彦 会場参加10名、ZOOM視聴35名

8月7日(土) 講師：中島国彦 ZOOM視聴74名

○第57回 夏の文学教室 「東京・TOKYO part3」

読売新聞社後援、小学館協力、有楽町・よみうりホールにて8月16日(月)～8月21日(土)開催予定で準備を進めていたが、2021年度の開催を中止。

○文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月24日(火)～8月28日(土)の予定で準備を進めていたが、2021年度の開催を中止。

12月1日～3日の職員研修講座+11月27日、12月4日の計5日間を博物館実習希望者のための代替実習にあてた。(受講者 4名)

○文学館職員研修講座 (受講者 9館9名)

2022年1月末の3日間開催の予定で準備を進めていたが、12月1日～3日の日程で文学館演習の博物館実習希望者向け代替実習と合同開催とした。

【刊行物】

『教科書と近代文学 「羅生門」「山月記」「舞姫」「こころ」の世界』

2021年6月10日刊行 館編、秀明大学出版会発行

紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第17号 2022年3月20日刊行